



日韓友情年、日豪交流年など
政府間の合意等により実施される交流年、記念年にあたり
多彩な文化・交流事業を実施しました。



日韓友情年2005 (日韓国交正常化40周年)



「日韓友情年2005」は、日韓国交正常化40周年という機会をとらえ、文化・経済・社会などあらゆる分野においてさらに交流を進め、21世紀を共に歩む日韓関係の礎を築くため、とりわけ次世代を担う若者の間の相互理解を深めようという趣旨のもとに、2003年6月、ノ・ムヒョン大統領来日の際、日韓両首脳により合意されました。

- 展覧会「アジアのキュビズム」(12頁参照)
- 日韓ダンス交流フェスティバル(12頁参照)
- 日本映画:継承と断絶-日本映画110年を振り返る
韓国で初めて、日本映画の初期から現代まで各時代を代表する映画作品を網羅して紹介。
- 日韓セミナー2005—交流時代の課題と可能性

日韓の政界・学界・文化界の有識者約30名が東京で公開セミナー「韓流とニッポンフィール」を開催。また、青少年問題と多文化共生について非公開セミナーを開催しました。



2005年日・EU市民交流年



日本と欧州連合（EU）は、2002年の第11回日・EU定期首脳協議で、「日欧協力の10年」の中間年となる2005年を「日・EU市民交流年」とすることに合意しました。そのコンセプトは「人と人の交流」。ジャパンファウンデーションは、文化芸術交流、知的交流、市民交流の各分野で様々な主催事業を実施し、また、同時に民間主導の事業をサポートしました。

- **展覧会「妖怪展」** (44頁参照)
- **展覧会「日本の知覚」** (14頁参照)
- **助成事業**

NPO代表者を集めて英国にて開催された「青少年に関する日・EUセミナー」やデュッセルドルフの日本デーで行われた「渋さ知らずオーケストラ」の公演など多くの事業に助成しました。

- **「EU・日本創造都市交流2005」** (38頁参照)



2006年日豪交流年(日豪友好協力基本条約締結30周年)



日豪友好協力基本条約（1976年）の締結30周年を記念し、特に草の根レベルでの両国間の友好関係、相互理解、協力をさらに深めていくことを目的として、2003年に首脳会談の合意により決定しました。

- **林英哲・タイコースズ 太鼓演奏ツアー**

2006年2月から3月まで、オープニング・イベントとして豪州6都市を巡回公演。日本を代表する太鼓奏者の林英哲が豪州の太鼓グループ「TaikOz」、ライリー・リー（尺八奏者）、マシュー・ドイル（ディジュリドゥ（アボリジニ民族楽器）奏者）と共演しました。



● 林英哲・タイコースズ太鼓演奏ツアー

- **AJdX2006 オーストラリアー日本 ダンスエクステンジ2006**

JCDN、オーストラリア・カウンシルと共催で、国際舞台芸術制作、若手振付家、ダンサーの交流などを行うプロジェクト。2006年2月に横浜開幕イベントを開催。

- **連続講座 オーストラリアを知るために—多文化・ミドルパワー** (11頁参照)

関係の深さに比べてあまり知られていないオーストラリアの歴史・文化・社会と日豪関係を紹介するため、専門家による10回にわたる連続講座を東京で実施しました。



● AJdX2006 横浜開幕イベント

ジャパンファウンデーションは皆様の国際交流プロジェクトを支援しています。

ジャパンファウンデーションは自ら国際交流事業を行うとともに、他団体、機関に対して助成金などの援助を行うことで、民間の国際交流を支援しています。

毎年9月頃から、公募プログラムの内容と申請方法をコンパクトにまとめた冊子「国際交流基金公募プログラムガイドライン」を配布しています。

